

一般質問通告順序表

No.1 (令和6年6月17日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	東 育代	市長 教育長	<p>1. 不登校等児童生徒への支援について 不登校の要因を巡り、子どもと学校側の受け止めに隔たりがあると文部科学省の調査で明らかになりました。不登校の児童生徒が増える中、いかに学校が子どもの本音を引き出し、適切な支援に繋げられるか。国や自治体のサポートに加え、学校現場の意識改革も必要とある。 (1) 不登校児童生徒の現状について伺う。 (2) 市教育支援センターの現状と施設の増設について伺う。 (3) 不登校傾向の児童生徒への支援体制として、先進地の広島県では校内の空き教室を活用したスペシャルサポートルーム (SSR) の取組がある。本市における校内でのサポート体制について伺う。 (4) 県内他市町では、フリースクールを利用する保護者への負担軽減のための財政支援を求める陳情等が出されている。本市のフリースクールに対する考えを伺う。</p> <p>2. 公共施設跡地の利活用について 中学校統廃合による学校施設 (跡地・建屋等) や市の所有する公共施設跡地について、まちづくりに活かすためには早急に取組を進めるべきではないか。</p>
2	大六野 一美	市長	<p>1. 消防行政のあり方について (1) 現在、人間関係を含め機能しているのか現状を問う。 (2) 複数人の退職者が出た現実をどのように受け止めているのか。パワハラ問題との関連はあるのか。 (3) 消防の体制は本署・分遣所の方式がベストの方策だと考えているのか。以前、統合したほうが限りある人員で機能するとの説明を受けたが整合性を問う。</p> <p>2. 市営住宅の現状について (1) とりわけウッドタウン団地の現状は空室が多く、荒れ放題であるが、何か良策はないのか。 (2) 補助事業での建設であり、入居条件があることは承知をしている。このままで良いとは思わない。早急な対策を講ずるべきだと思うが、対策案を示すべきではないか。</p>
3	江口 祥子	市長 教育長	<p>1. 献血の推進について 少子高齢化により、献血可能な人口が減少している中、近い将来、輸血用の血液が不足するとの推計が出されている。将来に必要な輸血用の血液を確保し続けるための市の取組について伺う。 (1) 本市における献血推進状況 (普及啓発活動) について (2) 献血の量の減少 (特に 10 代から 30 代) についての普及啓発について (3) 献血可能年齢になる前の中学生への献血の普及啓発について</p> <p>2. 起立性調節障害について 自律神経の不調により、頭痛やめまいが起こる起立性調節障害が不登校の原因の一つになっている。小中学校の現状や相談体制などの取組を伺う。</p>

4	吉留 良三	市長 教育長	<p>1. 農村の存続について</p> <p>5年ぶりに「食料・農業・農村基本法」が見直され、2023年度の農業白書もまとまった。これまで「強い農業」を目指したはずだが、資材高騰や気候変動などで、農畜産業は危機的である。わずか38%に低迷する自給率を引き上げ、所得確保につなげられるか。農家が再生産する取引価格でなければ、農業の持続的発展は見込めず、中山間地の過疎化・疲弊は続き、地域コミュニティの危機は深まるばかりだ。</p> <p>(1) 農業の持つ役割は、まさに公益事業だ。足元の資源を見直し、「地消地産・地域循環型経済・ローカルな自給圏構築」が進めるべき施策と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 地域循環型経済の構築には、学校給食を核とする成功事例が多く、本市も地元産食材等の使用割合を高める方針が示された。また、先進地では、食育の推進による健康寿命を延ばす健康づくり効果も大きいとされる。約4%の地元産の食材等の使用率を徐々に高めながら、農業振興・中山間地のコミュニティ維持のための体制づくり、健康づくりを強化すべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 兼業は、日本農業の本質とも言われる。食料・農業・農村基本法見直しでも中小規模の家族経営や「半農半X」など多様な人材を位置付ける方向とも言われるが、どう評価するか。</p> <p>(4) 「兼業、半農半X」の生業探しのヒントは地域の困りごとにあると言われるが、どのように考えるか。</p> <p>(5) 「特定地域づくり事業協同組合」の進捗状況、課題は何か。</p> <p>(6) 「労働者協同組合」は地域の困りごとに寄り添った活動主体になる可能性が大であると思うが、どう評価するか。</p>
---	-------	-----------	---

一般質問通告順序表

No.2 (令和6年6月18日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
5	高木 章次	市長	<p>1. 川内原発について 7月に川内原発1号機は20年運転延長に入る予定となっている。市は県に対し避難計画について意見を提出する前に、本市住民の意見を公開の場で直接聞くべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>2. 有機農業について (1)今年度から市民有機農業塾が始まったが、目的は本市での有機農業の拡大の一環と思って良いか、考えを伺う。 (2)本市での具体的な目標値を設定した有機農業の推進計画を作成すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>3. 地域公共交通について (1)地域公共交通計画が発表されたが、今後の高齢化により想定される自家用車免許返還人数とその地域について記載がない。今後、アンケートなどで調査し計画に反映すべきと思うが、考えを伺う。 (2)AIを使った「電話予約制乗合タクシー」の検討をすべきと思うが、考えを伺う。 (3)具体的な改善策のアイデアを市民に広く求めることも実施すべきと思うが、考えを伺う。</p>
6	西田 憲智	市長	<p>1. 財政、財源確保について 4年連続で前年度比増額した当初予算の中で、自主財源確保への進展と今後の考え方について伺う。 (1)市有財産をフル活用し、財源確保のために積極的に努めるべきではないか。 ①事業見直し等により休止状態である施設の利活用について ②市有地の活用について ③市有林の活用について ④パークゴルフ場の利用料金の見直し、改定について (2)基金運用拡大の取組について、現状と今後の計画を伺う。 (3)ふるさと納税寄附金の更なる拡充について伺う。 ①企業版ふるさと納税について ②ガバメントクラウドファンディング等の取組について (4)新たな公共施設の広告事業の展開について伺う。 (5)新たな手法による地域振興券事業（商品券事業）の取組について伺う。</p> <p>2. 子育て支援策の拡充について 地域と協働した選ばれるまちの子育て支援策について (1)育児支援制度（イクボス企業応援）の拡充について伺う。 (2)新たな取組として、「赤ちゃん駅」の導入について伺う。</p>

7	下迫田 良信	市長	<p>1. 海岸・河川の環境保全について</p> <p>(1) 須賀海岸（照島海岸）の防潮堤外側の雑木・雑草が繁茂し見苦しい状況であるが、対策・対応はしないのか。</p> <p>(2) 八房川下流域の汚泥沈着、堆積について伺う。</p> <p>(3) 照島海岸及び市来海岸の海砂の減少を食い止め、照島神社を含めた風光明媚な地の利を活かした移住・定住の強化は図れないか。</p> <p>2. 土木行政について</p> <p>(1) 危険極まりない市道向井原線と市道旧国道線の交差点の改良促進について伺う。</p> <p>(2) 衛生センター建て替え時の条件道路「別府上名線」の国道3号起点からの施工の見通しについて伺う。</p> <p>3. 入札行政の見直しによる財源確保について</p> <p>(1) 公正な入札結果が近年高止まりをしている現状について、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 近隣2市の状況を本市に置き換えれば、かなりの財源確保に繋がるのではないかと。賢明な創意工夫の施策が模索されるべきと考えるが如何か。</p>
8	福田 清宏	市長	<p>1. 讃岐公園の階段と擁壁について</p> <p>(1) 讃岐公園の西側中央付近にある階段と擁壁の現状と改修について伺う。</p> <p>①階段は、劣化が激しく、砂利が浮き出ている状態にあるが改修は出来ないか、伺う。</p> <p>②擁壁は、石積の目地がはがれた所から砂がこぼれてくる状態にあるが、調査し、改修することは出来ないか、伺う。</p> <p>2. ウッドタウン造成事業用地（4工区）の活用について</p> <p>(1) 移住定住・子育て施策の一環として、ウッドタウン造成事業用地（4工区）を長期にわたる賃貸用宅地として整地し、移住者が30年以上定住した時は、その土地を無償で譲渡する施策は考えられないか、伺う。</p> <p>3. 木原墓地の環境整備について</p> <p>(1) 通路に設置するガードパイプは、年次的に計画し、整備されているか、伺う。</p>